

日本技術士会北海道本部 50 年のあゆみ

年 号	支部・センターのできごと	社会のできごと
昭和 40(1965)年	5月●支部設立の意見交換を行う 6月●(社)日本技術士会北海道支部・北海道技術士センター設立世話人の選任 11月●(社)日本技術士会北海道支部・北海道技術士センター設立発起人会を開催	3月●米、北ベトナム爆撃開始 6月●日韓基本条約調印 10月●朝永振一郎ノーベル物理学賞受賞 11月●プロ野球第 1 回ドラフト会議
昭和 41(1966)年	1月●(社)日本技術士会北海道支部・北海道技術士センター設立総会の開催 4月●第 1 回定期総会 日生ビル 9F 5月●(社)日本技術士会総会において北海道支部開設が決定される	1月●日ソ航空協定・日ソ貿易支払協定調印 7月●新国際空港、成田に建設決定 9月●北海道の木「エゾマツ」に決定 10月●室蘭市ばい煙規制地域に指定
昭和 42(1967)年	2月●技術士本試験第一次(筆記)試験の受験地に札幌が認められる 試験会場：北大農学部講堂 4月●第 2 回定期総会 建設会館 9F 出席者 53 名 ●会誌 No.1 発行	2月●初の建国記念日 ●第二次佐藤内閣成立 4月●町村金五知事三選 ●ヨーロッパ共同体(EC)発足 8月●公害対策基本法制定
昭和 43(1968)年	4月●第 3 回定期総会 北海道自治会館 出席者 93 名 6月●技術士本試験受験者のためのセミナーを北海道自治会館にて開催 受講者 25 名	4月●川端康成ノーベル文学賞受賞 6月●大気汚染防止法・騒音防止法制定 8月●小樽～滝川間国鉄電車スタート 9月●北海道百年記念祝典
昭和 44(1969)年	4月●第 4 回定期総会 北海道自治会館 出席者 106 名 6月●受験者のセミナー開催 受講者 18 名 8月●筆記試験会場：道庁赤レンガ庁舎 11月●「コンサルタンツ北海道」の表紙変更(デザインは瀬戸賢太郎)	4月●稲作の生産調整実施 5月●東京杉並区に光化学スモッグ発生 ●国連軍縮理事国に当選 7月●米国アポロ 11 号人類初の月面着陸
昭和 45(1970)年	4月●第 5 回定期総会 北海道自治会館 出席者 80 名 6月●受験者のセミナー開催 受講者 28 名	1月●第三次佐藤内閣成立 ●北海道公害防止条例施行 3月●万国博覧会、大阪で開催
昭和 46(1971)年	4月●第 6 回定期総会 北海道自治会館 出席者 84 名 6月●受験者のセミナー開催 受講者 19 名 9月●(社)日本技術士会創立 20 周年及び北海道支部創立 7 周年記念行事として講演会を開催「北海道開発と公害問題」札幌商工会議所共催	3月●大久保清連続女性誘拐殺人事件 4月●堂垣内尚弘知事当選 7月●環境庁発足 ●マクドナルド日本 1 号店オープン 8月●ニクソン・ショックで変動相場になる

年 号	支部・センターのできごと	社会のできごと
昭和 47(1972)年	4月●第7回定期総会 北海道自治会館 出席者 96 名 7月●受験者のセミナー開催 受講者 34 名 9月●講演会の開催「都市と環境保全」 札幌商工会議所共催	1月●横井庄一グアム島で発見 2月●札幌オリンピック冬季大会開催 5月●沖縄祖国復帰 7月●田中内閣成立 9月●中国との国交正常化
昭和 48(1973)年	4月●第8回定期総会 北海道自治会館 出席者 90 名 6月●受験者のセミナー開催 受講者 25 名 10月●講演会の開催「大型プロジェクトと環境問題」札幌商工会議所共催	1月●ベトナム和平協定調印 8月●金大中拉致事件 10月●江崎玲於奈ノーベル物理学賞受賞 ●第一次オイルショック
昭和 49(1974)年	4月●第9回定期総会 北海道自治会館 出席者 128 名 ●センター年会費 1,000 円から 2,000 円に 6月●受験者のセミナー開催 受講者 38 名 8月●第1回技術士全国大会が(愛知県犬山市) 10月●講演会の開催「都市の公害と環境保全」 札幌商工会議所共催 11月●石山禎宣支部長・センター会長が逝去 臨時理事会で瀬藤副支部長・副会長が支部長・センター会長を代行	3月●小野田寛郎ルパン島で発見 4月●北海道自然環境保全条約施行 9月●北方圏環境会議を札幌で開催 10月●佐藤栄作ノーベル平和賞受賞 11月●フォード大統領来日 12月●三木内閣成立
昭和 50(1975)年	4月●第10回定期総会 北海道自治会館 出席者 105 名 7月●受験者のセミナー開催 受講者 27 名 8月●第2回技術士全国大会(大阪市大阪科学技術センター) 10月●講演会の開催「公害防止セミナー」 札幌商工会議所共催	4月●堂垣内尚弘知事再選 7月●沖縄国際海洋博覧会開催 10月●広島東洋カープ初優勝 ●天皇陛下、初の訪米 11月●第1回先進国首脳会議パリで開催
昭和 51(1976)年	4月●第11回定期総会 北海道自治会館 出席者 96 名 6月●受験者のセミナー開催 受講者 40 名 8月●第3回技術士全国大会(神奈川県箱根町) ●(社)日本技術士会創立 25 周年記念式典が東京日本工業クラブで開催	2月●ロッキード事件発覚 3月●道庁爆破事件発生 6月●札幌地下鉄東西線開通 9月●ソ連のミグ 25A 戦闘機函館に着陸 12月●福田内閣成立
昭和 52(1977)年	4月●第12回定期総会 北海道自治会館 出席者 115 名 6月●受験者のセミナー開催 受講者 40 名 9月●第4回技術士全国大会を札幌市で開催 北海道厚生年金会館 参加者 243 名	2月●米・ソ 200 海里漁業水域を設定 5月●海洋二法「12 海里領海法、200 海里漁業水域法」制定 6月●道立近代美術館開館 8月●有珠山大爆発 12月●日本男子の平均寿命「72.69 歳」、世界第一位となる

年 号	支部・センターのできごと	社会のできごと
昭和 53(1978)年	<p>2月●「T・A セミナー」を(財)日本技術振興協会と共催</p> <p>4月●第 13 回定期総会 北海道自治会館 出席者 150 名</p> <p>6月●受験者のセミナー開催 受講者 47 名</p> <p>7月●第 5 回技術士全国大会が(福岡市)</p>	<p>2月●北海道発展計画、閣議決定</p> <p>5月●成田空港(新東京国際空港)開港</p> <p>8月●日中平和友好条約調印</p> <p>12月●第二次オイルショック始まる ●大平内閣成立</p>
昭和 54(1979)年	<p>2月●「T・A セミナー」開催</p> <p>3月●技術コンサルタント実務研修会の開催</p> <p>4月●第 14 回定期総会 北海道自治会館 出席者 166 名</p> <p>6月●受験者のセミナー開催 受講者 37 名</p> <p>8月●第 6 回技術士全国大会(山梨県石和町)</p>	<p>4月●堂垣内尚弘知事三選</p> <p>6月●東京サミット開催</p> <p>9月●豊平川に 25 年ぶりにサケそ上</p> <p>11月●第二次大平内閣成立</p> <p>12月●アフガニスタンでクーデター、ソ連介入</p>
昭和 55(1980)年	<p>2月●「T・A セミナー」開催</p> <p>3月●技術コンサルタント実務研修会の開催</p> <p>4月●第 15 回定期総会 北海道自治会館 出席者 116 名 ●道東技術士協議会(釧路)発足</p> <p>6月●受験者のセミナー開催 受講者 36 名</p> <p>8月●第 7 回技術士全国大会(石川県金沢市)</p> <p>9月●(社)日本技術士会北海道支部・北海道技術士センター創立 15 周年記念行事「中国東北地方(旧満州)との技術交流」</p> <p>11月●技術コンサルタント実務研修会の開催</p>	<p>4月●米国、イランと国交断絶</p> <p>5月●国鉄道内 21 駅無人化</p> <p>7月●鈴木内閣成立</p> <p>8月●静岡駅地下街ガス爆発事故</p> <p>9月●イラン・イラク戦争勃発</p> <p>10月●新千歳空港開港 ●北炭夕張炭鉱ガス突出事故</p> <p>11月●国道 231 号(雄冬～増毛間)開通</p>
昭和 56(1981)年	<p>1月●技術コンサルタント実務研修会の開催</p> <p>2月●「T・A セミナー」開催 ●国立国会図書館刊行物部より会誌「コンサルタンツ北海道」が ISSN(国際標準逐次刊行物番号)の割当を受ける ISSN 0389-5874 CONSARUTANTSU HOKKAIDO</p> <p>4月●第 16 回定期総会 北海道自治会館 出席者 166 名</p> <p>6月●受験者のセミナー開催 受講者 30 名</p> <p>11月●第 8 回技術士全国大会並びに(社)日本技術士会創立 30 周年記念式典(東京都)</p>	<p>3月●神戸ポートアイランド博覧会開幕</p> <p>7月●英国皇太子結婚</p> <p>8月●56 年洪水、石狩川氾濫</p> <p>10月●エジプトのサダト大統領暗殺</p> <p>12月●福井謙一ノーベル化学賞受賞 ●札幌新道全面開通 ●中国残留日本人孤児、初来日</p>
昭和 57(1982)年	<p>1月●技術コンサルタント実務研修会の開催</p> <p>3月●「T・A セミナー」開催</p> <p>4月●第 17 回定期総会 北海道自治会館 出席者 139 名</p> <p>6月●受験者のセミナー開催 受講者 39 名</p> <p>7月●第 9 回技術士全国大会(広島市)</p>	<p>4月●フォークランド紛争</p> <p>6月●ベルサイユサミット開催 ●'82 北海道博覧会開催</p> <p>8月●全道一長いトンネル完成 [国道 273 号 3,285 m]</p> <p>11月●中曽根内閣成立</p>

年 号	支部・センターのできごと	社会のできごと
昭和 58(1983)年	<p>1月●技術コンサルタント実務研修会の開催</p> <p>2月●「T・A セミナー」開催</p> <p>3月●本試験札幌会場を北大教養部に変更</p> <p>4月●第 18 回定期総会 北海道自治会館 出席者 246 名 ●技術士法改正…予備試験の廃止、技術士補の新設(昭和 59 年 4 月より施行)</p> <p>6月●受験者のセミナー開催 受講者 37 名</p> <p>9月●第 10 回技術士全国大会(宮城県仙台市)</p> <p>11月●「T・A セミナー」開催</p>	<p>4月●横路孝弘知事当選 ●東京ディズニーランド、オープン</p> <p>8月●フィリピン、アキノ大統領暗殺</p> <p>9月●ソ連空軍機大韓航空機を撃墜</p> <p>10月●三宅島、21 年ぶりに噴火</p> <p>12月●第二次中曽根内閣成立</p>
昭和 59(1984)年	<p>1月●技術コンサルタント実務研修会の開催</p> <p>4月●第 19 回定期総会 北海道自治会館 出席者 264 名</p> <p>6月●受験者のセミナー開催 受講者 83 名</p> <p>10月●第 11 回技術士全国大会(愛知県名古屋)</p> <p>12月●技術コンサルタント実務研修会の開催</p>	<p>2月●植村直己、消息を絶つ</p> <p>3月●グリコ・森永事件</p> <p>6月●第二電電設立</p> <p>9月●中国・英国が香港返還条約調印</p> <p>11月●新 1 万円、5 千円、1 千円札発行</p>
昭和 60(1985)年	<p>2月●「T・A セミナー」開催</p> <p>3月●札幌市営地下鉄の見学会</p> <p>4月●第 20 回定期総会 北海道自治会館 出席者 269 名 ●センター年会費 2,000 円から 3,000 円に</p> <p>7月●受験講習会開催 受講者 59 名</p> <p>10月●技術コンサルタント実務研修会の開催 ●第 12 回技術士全国大会(奈良市)</p>	<p>3月●つくば科学万国博覧会開幕</p> <p>4月●電電公社及び専売公社の民営化</p> <p>6月●豊田商事事件</p> <p>8月●群馬県の山中に日航ジャンボジェット機墜落</p> <p>9月●ロス疑惑の三浦和義、殺人未遂容疑で逮捕</p>
昭和 61(1986)年	<p>1月●(社)日本技術士会北海道支部・北海道技術士センター 20 周年記念大会 石狩会館</p> <p>3月●札幌市駒岡清掃工場見学会</p> <p>4月●第 21 回定期総会 北海道自治会館 出席者 264 名</p> <p>6月●受験講習会開催 受講者 67 名</p> <p>10月●第 13 回技術士全国大会(東京都経団連会館)</p> <p>11月●芸術の森及び札幌市配水センター見学会</p>	<p>4月●男女雇用均等法施行 ●ソ連チェルノブイリ原子力発電所で事故発生</p> <p>7月●第三次中曽根内閣成立</p> <p>9月●土井たか子社会党委員長誕生</p> <p>11月●伊豆大島三原山噴火</p>
昭和 62(1987)年	<p>3月●札幌エレクトロニクスセンター見学会</p> <p>4月●第 22 回定期総会 KKR 札幌 出席者 308 名 ●センター副会長が二人から一人に</p> <p>6月●受験講習会開催 受講者 60 名</p> <p>9月●第 14 回技術士全国大会を札幌市で開催 札幌グランドホテル 参加者 350 名</p> <p>11月●(財)日本気象協会北海道本部「オンライン情報提供システム」見学会</p>	<p>4月●横路孝弘知事再選 ●国鉄分割民営化</p> <p>7月●NHK 衛生第一テレビ放送開始</p> <p>9月●利根川進ノーベル医学生理学賞受賞</p> <p>11月●竹下内閣成立</p>

年 号	支部・センターのできごと	社会のできごと
昭和 63(1988)年	<p>4月●第 23 回定期総会 KKR 札幌 出席者 287 名</p> <p>5月●道南技術士協議会(函館)発足</p> <p>6月●受験講習会開催 受講者 60 名 ●北海道電力(株)泊発電所見学会</p> <p>10月●第 15 回技術士全国大会(大分県別府市)</p> <p>11月●道央技術士協議会(室蘭)発足</p> <p>12月●道北技術士協議会(旭川)発足</p>	<p>3月●青函トンネル開業 ●東京ドーム完成</p> <p>4月●瀬戸大橋開通</p> <p>6月●牛肉・オレンジ輸入自由化</p> <p>9月●ソウル五輪開催</p> <p>12月●札幌地下鉄東豊線開業</p>
平成元(1989)年	<p>3月●札幌地下鉄コントロールセンター見学会</p> <p>4月●第 24 回定期総会 フジヤサントスホテル 出席者 343 名</p> <p>6月●受験講習会開催 受講者 92 名</p> <p>9月●第 16 回技術士全国大会(新潟市)</p> <p>10月●第 9 回地方公共団体職員と技術士との合同 セミナー開催：KKR 札幌 ●青年技術士協議会(45 歳未満)発足</p>	<p>1月●昭和天皇崩御</p> <p>4月●消費税の導入</p> <p>6月●中国天安門事件 ●宇野内閣成立</p> <p>8月●海部内閣成立</p> <p>11月●ベルリンの壁崩壊</p>
平成 2 (1990)年	<p>2月●藻岩下流雪溝見学会</p> <p>4月●第 25 回定期総会 フジヤサントスホテル 出席者 354 名</p> <p>6月●受験講習会開催 受講者 108 名 ●朝里ダム、定山溪ダム見学会</p> <p>8月●技術士第二次試験会場：北海学園大学</p> <p>9月●白鳥大橋、新日鉄室蘭製作所見学会</p> <p>10月●第 17 回技術士全国大会(香川県高松市)</p> <p>11月●札幌エネルギー供給公社、河川情報センター 見学会</p> <p>12月●道東地区技術研修セミナー開催</p>	<p>2月●日米構造協議東京で開幕</p> <p>3月●第 2 回アジア冬期競技大会札幌で開幕</p> <p>4月●国際花と緑の博覧会が大阪で開幕</p> <p>8月●日本人の平均寿命、世界記録を更新</p> <p>11月●天皇陛下即位の礼、各国要人ら 2,200 人参列</p> <p>12月●六価クロム訴訟、13 年ぶりで和解成立 ●第二次海部内閣成立</p>
平成 3 (1991)年	<p>3月●講演会の開催「環境調査の周辺」</p> <p>4月●第 26 回定期総会 フジヤサントスホテル 出席者 611 名</p> <p>6月●受験講習会開催 受講者 109 名</p> <p>7月●恵庭テクノパーク見学会</p> <p>10月●岩内マリントウンプロジェクト見学会</p> <p>11月●第 18 回技術士全国大会(東京都)</p>	<p>1月●湾岸戦争始まる</p> <p>4月●横路孝弘知事三選</p> <p>6月●雲仙・普賢岳火砕流発生 ●比・ピナトゥボ火山大噴火</p> <p>8月●ソ連・8 月政変で共産党解体</p> <p>10月●道央自動車道「室蘭～登別」開通</p> <p>11月●宮沢内閣成立</p>
平成 4 (1992)年	<p>4月●第 27 回定期総会 フジヤサントスホテル 出席者 502 名 ●センター年会費 3,000 円から 5,000 円へ</p> <p>5月●受験講習会開催 受講者 175 名</p> <p>6月●講演会の開催「北海道における技術士活動の 現況と課題」</p> <p>8月●技術士第二次試験会場：北大教養部</p> <p>9月●地下無重力実験センター見学会</p> <p>10月●第 19 回技術士全国大会(仙台市)</p>	<p>6月●PKO 法成立、自衛隊海外派遣 ●地球サミット、リオで開催</p> <p>9月●日本人初の宇宙飛行士「毛利衛」誕生</p> <p>10月●天皇・皇后両陛下初の中国訪問</p> <p>11月●米大統領クリントン 46 歳が当選 ●戦後最悪の不作、コメ緊急輸入</p>

年 号	支部・センターのできごと	社会のできごと
平成5 (1993)年	2月●生活工房札幌ファクトリー見学会 4月●第28回定期総会 フジヤサントスホテル 出席者 433名 5月●受験講習会開催 受講者 155名 7月●道央自動車道(伊達～虻田間)見学会 8月●技術士第二次試験会場：北海学園大学 ●サハリン土木技術事情調査(コルサコフユジ ノサハリンスク等) 10月●第20回技術士全国大会(静岡市)	1月●平成5年(1993年)釧路沖地震発生 6月●皇太子・雅子さま結婚の儀 ●ラムサール条約国際会議、釧路市で開催 7月●北海道南西沖地震発生 8月●横路知事北方領土初訪問 ●細川内閣成立、 土井たか子衆議院議長誕生 ●戦後初の1ドル=100円台に 10月●エリツイン大統領初訪日
平成6 (1994)年	2月●第13回地方公共団体職員と技術士との合同 セミナー開催：ポールスター札幌 4月●第29回定期総会 フジヤサントスホテル 出席者 701名 5月●受験講習会開催 受講者 129名 9月●第24回日韓技術士会議開催：札幌プリンス ホテル 10月●第21回技術士全国大会(大阪市) 11月●札幌市営地下鉄東豊線学園前駅舎見学会	4月●羽田内閣成立 ●名古屋で中華航空機墜落 6月●村山内閣成立 ●1ドル=100円を切り、円高が進む 9月●関西国際空港開港 10月●大江健三郎ノーベル文学賞受賞
平成7 (1995)年	4月●第30回定期総会 フジヤサントスホテル 出席者 615名 5月●受験講習会開催 受講者 196名 ●防災研究会の発足総会 9月●第22回技術士全国大会を札幌市で開催 札幌後楽園ホテル 参加者 410名	1月●阪神・淡路大震災発生 3月●地下鉄サリン事件 ●一時1ドル=70円台 4月●堀達也知事当選 5月●オウム真理教麻原教祖逮捕 10月●官官接待発覚
平成8 (1996)年	4月●第31回定期総会 ホテル札幌ガーデンパレス 出席者 581名 ●(社)日本技術士会北海道支部・北海道技術士 センター30周年記念大会を開催 5月●受験講習会開催 受講者 204名 10月●第16回地方公共団体職員と技術士との合同 セミナー開催 ●第23回技術士全国大会(横浜市)	1月●村山首相辞任、橋本内閣成立 2月●豊浜トンネル崩落で20人死亡 5月●住専処理で6,850億円投入 7月●アトランタ五輪メダル日本14個 8月●薬害エイズ事件で安部前帝京大 副学長逮捕
平成9 (1997)年	4月●第32回定期総会 ホテルポールスター札幌 出席者 678名 ●「地域産業研究会」発足 5月●特別シンポジウムの開催「技術士からの提言 ー地震災害に備えてー」 ●受験講習会開催(札幌市) 受講者 187名 6月●受験講習会開催(帯広市) 受講者 57名 ●受験講習会開催(旭川市) 受講者 48名 7月●北海道大学苫小牧演習林にて見学会 ●インターネットホームページ開設 10月●第24回技術士全国大会(福岡市) 11月●防災研究会シンポジウムを函館で開催	1月●ペルー日本大使公邸に武力突入 ●重油流出、日本海沿岸を汚染 4月●消費税5%スタート 5月●神戸の小6殺害で14歳逮捕 11月●金融機関の経営破綻相次ぐ ●土井さん、宇宙遊泳成功

年 号	支部・センターのできごと	社会のできごと
平成 10(1998)年	4月●第 33 回定期総会 ホテル札幌ガーデンパレス 出席者 796 名 ●支部・センターの機構改革 5月●受験講習会開催(札幌市) 受講者 156 名 6月●受験講習会開催(帯広市) 受講者 48 名 ●受験講習会開催(旭川市) 受講者 56 名 7月●北海道電力総合研究所及び滝川ふれあいの 里見学会 9月●第 1 回北東 3 支部技術士交流研修会が仙台 市で開催される 10月●第 25 回技術士全国大会(新潟市) 11月●(社)日本技術士会北海道支部主催 ISO14001 セミナーの開催 12月●メーリングリスト“エンジニア・パーク・オ ンライン”(E.P.O)開設	2月●長野五輪開催、日本「金」5 個 5月●若乃花、連覇で初の兄弟横綱誕生 6月●サッカー W 杯日本初出場 7月●参院選で自民惨敗、小渕内閣が発足 ●カレーにヒ素混入、4 人死亡 8月●北朝鮮ミサイル、三陸沖に着弾 11月●戦後最悪不況、24 兆円の緊急経済対策
平成 11(1999)年	4月●第 34 回定期総会 ホテル札幌ガーデンパレス 出席者 902 名 5月●「北方海域技術研究会」設立 ●受験講習会開催 受講者 237 名 7月●札幌ドーム等見学会 8月●「リージョナルステート研究会」設立 9月●「エゾシカとの共生」ツアー開催 10月●第 26 回技術士全国大会(岡山市) 11月●第 2 回北東 3 支部技術士交流研修会が新潟 市で開催される	2月●所沢産野菜にダイオキシン汚染騒動 ●脳死移植、国内初の実施 4月●「地域振興券」を交付 5月●中国産トキのヒナが誕生 8月●玄倉川キャンプ中に流され、13 人死亡 9月●東海村で国内初の臨海事故 11月●東京で近所の主婦、幼女を殺害
平成 12(2000)年	4月●第 35 回定期総会 ホテル札幌ガーデンパレス 出席者 879 名 5月●受験講習会開催 受講者 285 名 7月●北大アンダーパス等見学会 9月●第 27 回技術士全国大会(盛岡市) 11月●第 3 回北東 3 支部技術士交流研修会を札幌 市で開催	1月●新潟不明少女、9 年ぶりに保護 3月●有珠山噴火 4月●小渕首相倒れ、森内閣連立発足 6月●雪印乳製品で集団食中毒 7月●二千元札発行される 12月●白川博士がノーベル化学賞受賞
平成 13(2001)年	4月●第 36 回定期総会 ホテル札幌ガーデンパレス 出席者 810 名 5月●受験講習会開催 受講者 270 名 9月●第 28 回技術士全国大会(東京都) 11月●第 4 回北東 3 支部技術士交流研修会が仙台 市で開催される	2月●えひめ丸が米原潜と衝突、沈没 4月●小泉内閣成立 6月●大阪・池田小児童殺傷事件、8 人が死 9月●米国 9.11 同時テロ ●国内初の狂牛病の牛を確認 10月●野依博士がノーベル化学賞受賞 12月●敬宮愛子さま誕生

年 号	支部・センターのできごと	社会のできごと
平成 14(2002)年	<p>2月●第 1 回技術フォーラムを開催 出席者 70 名</p> <p>4月●第 37 回定期総会 ホテル札幌ガーデンパレス 出席者 1,150 名</p> <p>6月●技術士第二次試験講習会開催 受講者 228 名 ●技術士第一次試験講習会開催 受講者 202 名</p> <p>9月●第 29 回技術士全国大会(岐阜市)</p> <p>11月●第 5 回北東 3 支部技術士交流研修会が新潟市で開催される ●オホーツク技術士協議会 発足</p>	<p>5月●鈴木宗男・田中真紀子、国会大荒れ</p> <p>6月●日韓共同ワールドカップ開催 ●日本決勝トーナメント進出</p> <p>9月●日朝首脳会談</p> <p>11月●拉致被害者 5 人が帰国</p> <p>12月●小柴博士、田中さん、ノーベル賞受賞</p>
平成 15(2003)年	<p>2月●第 2 回技術フォーラムを開催 出席者 121 名</p> <p>4月●第 38 回定期総会 ホテル札幌ガーデンパレス 出席者 1,559 名</p> <p>5月●技術士第二次試験講習会開催 受講者 28 名</p> <p>6月●技術士第一次試験講習会開催 受講者 228 名 ●コンサルタンツ北海道第 100 号を発刊</p> <p>10月●第 30 回技術士全国大会(大阪市)</p> <p>11月●第 6 回北東 3 支部技術士交流研修会をホテルポールスター札幌で開催</p>	<p>1月●北朝鮮、NPT 脱退 ●横綱貴乃花が引退</p> <p>2月●スペースシャトルコロンビア号墜落事故</p> <p>3月●米英軍がイラクと開戦</p> <p>4月●日本郵政公社発足</p> <p>7月●新型肺炎(SARS)が世界中で猛威</p> <p>9月●阪神タイガースが 18 年ぶりにリーグ優勝</p>
平成 16(2004)年	<p>2月●第 3 回技術フォーラムを開催 出席者 131 名</p> <p>4月●第 39 回定期総会 ホテル札幌ガーデンパレス 出席者 1,197 名</p> <p>6月●技術士第一次試験講習会開催 受講者 223 名</p> <p>9月●第 1 回技術者倫理研究事例発表大会を札幌市で開催 参加者 150 名 ●第 31 回技術士全国大会を札幌市で開催 ホテルロイトン札幌 参加者 584 名</p> <p>11月●第 7 回北東 3 支部技術士交流研修会が仙台市で開催される ●第 1 回防災セミナー 出席者 106 名</p>	<p>4月●日本ハムが本拠地を札幌ドームに ●「冬のソナタ」、ヨン様がブームに</p> <p>8月●駒大苫小牧が夏の甲子園で悲願の初優勝</p> <p>9月●台風 18 号で北海道に甚大な被害</p> <p>10月●新潟県中越地震(M6.8)発生 ●営業運転中の新幹線が初の脱線</p> <p>12月●スマトラ沖の大地震(M9.0)による津波で過去最悪の犠牲者</p>
平成 17(2005)年	<p>2月●第 4 回技術フォーラムを開催 出席者 111 名</p> <p>4月●第 40 回定期総会 ホテル札幌ガーデンパレス 出席者 1,334 名 ●e-ラーニング特別委員会 発足</p> <p>6月●第 100 回技術交流研究会開催</p> <p>9月●第 25 回地域産学官と技術士の合同セミナーを札幌市で開催 出席者 152 名</p> <p>10月●第 32 回技術士全国大会(福岡市)</p> <p>11月●第 8 回北東 3 支部技術士交流研修会が金沢市で開催される</p>	<p>4月●JR 福知山線脱線事故、死者 107 人</p> <p>7月●ロンドン同時爆破テロ ●知床半島の世界遺産登録が決定</p> <p>8月●駒大苫小牧が夏の甲子園で連覇 ●ハリケーン“カトリーナ”が米国に甚大な被害</p> <p>9月●郵政解散後の総選挙で自民が圧勝</p> <p>11月●紀宮さま御成婚 ●耐震強度偽装事件発覚</p> <p>12月●日本の人口が自然減に転じる</p>

年 号	支部・センターのできごと	社会のできごと
平成 18(2006)年	<p>4月●第 41 回定期総会 ホテル札幌ガーデンパレス 出席者 242 名</p> <p>●(社)日本技術士会北海道支部・北海道技術士 センター 40 周年記念式典を開催</p> <p>5月●第 5 回技術フォーラムを開催 出席者 82 名</p> <p>6月●支部・センター統合委員会 発足</p> <p>9月●第 33 回技術士全国大会(東京都)</p> <p>11月●支部・センター臨時総会にて、支部・センター の統合が承認される 出席者 支部 95 名、センター 119 名</p>	<p>2月●トリノオリンピックで荒川が金メダル</p> <p>4月●野球 WBC で日本が優勝</p> <p>8月●駒大苫小牧が甲子園で惜しくも準優勝</p> <p>9月●悠仁さまご誕生</p> <p>●小泉首相退陣、安倍内閣発足</p> <p>10月●北朝鮮が初の核実験を実施</p> <p>11月●佐呂間町で竜巻 9 人が死亡</p>
	支部のできごと	社会のできごと
平成 19(2007)年	<p>3月●札幌弁護士会との意見交換会を開催 出席者 10 名</p> <p>4月●支部・センターが統合 これによりセンター会員は支部協賛会員へ 移行</p> <p>●第 42 回定期総会 ホテル札幌ガーデンパレス 出席者 97 名</p> <p>5月●第 6 回技術フォーラムを開催 出席者 78 名</p> <p>10月●第 34 回技術士全国大会(福井市)</p> <p>11月●第 27 回地域産学官と技術士との合同セミ ナーを北見市で開催 出席者 134 名</p>	<p>1月●三菱ふそうトラック・バス、ハブの強度 不足が判明約 5 万 6,000 台リコール</p> <p>●宮崎県知事選挙で東国原英夫が初当選</p> <p>7月●中越沖地震。新潟県中越地方で震度 6 強。11 人が死亡</p> <p>8月●「白い恋人」賞味期限改ざん</p> <p>9月●安倍首相が辞任、福田内閣発足</p> <p>10月●気象庁が緊急地震速報を開始</p>
平成 20(2008)年	<p>2月●札幌弁護士会との意見交換会を開催 出席者 21 名</p> <p>4月●第 43 回定期総会 ホテル札幌ガーデンパレス 出席者 276 名</p> <p>10月●第 35 回技術士全国大会(島根)</p>	<p>5月●四川省で M8.0 の地震。死者約 7 万人</p> <p>6月●【岩手・宮城内陸地震】 宮城県栗原市 と岩手県奥州市で震度 6 強</p> <p>7月●第 34 回主要国首脳会議(洞爺湖サミット)</p> <p>9月●福田首相が辞任、麻生内閣発足</p>
平成 21(2009)年	<p>2月●札幌弁護士会との意見交換会を開催 出席者 24 名</p> <p>●第 7 回技術フォーラムを開催 出席者 89 名</p> <p>4月●第 44 回定期総会 ホテル札幌ガーデンパレス 出席者 269 名</p> <p>●倫理研究会 発足</p> <p>10月●第 36 回技術士全国大会(仙台)</p> <p>●第 29 回地域産学官と技術士との合同セミ ナーを札幌市で開催 出席者 118 名</p> <p>11月●第 12 回北東 3 支部技術交流研修会を札幌 市で開催 出席者 73 名</p>	<p>1月●第 44 代米大統領にバラク・オバマが 就任 米史上初の黒人大統領</p> <p>2月●村上春樹がイスラエルの文学賞『エルサ レム賞』を受賞</p> <p>4月●北朝鮮が弾道ミサイル「テポドン 2」を 発射 日本上空を横断</p> <p>5月●裁判員制度スタート</p> <p>6月●マイケルジャクソンさん(歌手)死去 享年 50 歳</p> <p>8月●衆議院選挙で民主党が圧勝 鳩山内閣 が発足</p>

	支部のできごと	社会のできごと
平成 22(2010)年	2月●第 8 回技術フォーラムを開催 出席者 96 名 3月●第 1 回倫理フォーラムを開催 出席者 100 名 4月●第 45 回定期総会 ホテル札幌ガーデンパレス 出席者 210 名 9月●第 37 回技術士全国大会(三重) ●第 20 回記念防災セミナーを開催 出席者 150 名	1月●日本航空が会社更生法の適用を申請し、 経営破綻 2月●チリで M8.8 の地震が発生 津波が日 本に到達し、大津波警報発令 6月●鳩山首相が辞任、菅内閣が発足 10月●鈴木章博士(北大)、根岸英一博士(米パ デュー大)がノーベル化学賞受賞
	本部のできごと	社会のできごと
平成 23(2011)年	2月●第 9 回技術フォーラムを開催 出席者 129 名 4月●「社団法人日本技術士会」から「公益社団法人 日本技術士会」へ法人名称変更 ●第 46 回定期総会 ホテル札幌ガーデンパレス 出席者 210 名 ●北海道スタンダード研究会 発足 5月●第 2 回倫理フォーラムを開催 出席者 89 名 7月●「北海道支部」の名称が「北海道本部」に変更 8月●第 38 回技術士全国大会(東京) 10月●第 31 回地域産学官と技術士との合同セミ ナーを札幌市で開催 出席者 176 名 11月●(独)土木研究所寒地土木研究所及び北海道 4 工業高等専門学校と連携・協力協定を締結	2月●ニュージーランド南島で M6.3 の地震 20 人以上の日本人留学生らが被災 3月●東日本大震災 三陸沖で M9.0 最大震度 7 福島第一原子力発電所で 放射能漏れが発生 ●信越地方で M6.6 の巨大地震 長野県 北部で震度 6 強、新潟中越で震度 6 弱 5月●JR 石勝線トンネルで、釧路発札幌行き の特急列車が炎上 8月●菅内閣が総辞職 野田内閣が発足 12月●北朝鮮の金正日総書記が死去
平成 24(2012)年	2月●第 10 回技術フォーラムを開催 出席者 66 名 4月●第 47 回定期総会 ホテル札幌ガーデンパレス 出席者 196 名 ●「地域産業研究会」が活動を終了し、「食産業 研究会」、「エゾシカ研究会」として再出発 ●エンジョイ・サイエンス研究会 発足 5月●第 3 回倫理フォーラムを開催 出席者 74 名 9月●第 39 回技術士全国大会(大阪) 12月●第 15 回北東 3 地域本部技術士交流研修会 を札幌市で開催 出席者 68 名	2月●東京スカイツリー竣工 高さ 634 m 5月●泊発電所運転停止 日本のすべての原 発(50 基)が 42 年ぶりに稼働停止 7月●ロンドンオリンピックで金 7、銀 14、 銅 17 10月●山中伸弥教授(京都大学)がノーベル生 理学賞受賞 12月●中央自動車道笹子トンネル上り線で天 井板が崩落する事故 走行中の車両が 巻き込まれ 9 人死亡 ●総選挙で自民党圧勝 第二次安倍内閣 発足
平成 25(2013)年	2月●第 11 回技術フォーラムを開催 出席者 133 名 3月●「技術交流研究会」が活動を終了 ●初の地域組織幹事選出選挙を実施 5月●第 4 回倫理フォーラムを開催 出席者 77 名 7月●第 48 回年次大会 ホテル札幌ガーデンパレス 出席者 156 名 10月●第 40 回技術士全国大会を札幌市で開催 会場 ホテルロイトン札幌、出席者 610 名	2月●朴槿恵が大韓民国大統領に就任 5月●長嶋茂雄氏と松井秀喜氏に国民栄誉賞 6月●富士山が世界文化遺産登録 8月●国の借金が 1,000 兆円突破 9月●2020 年の夏季五輪開催地が東京に決 定 10月●伊勢神宮で「式年遷宮」

	本部のできごと	社会のできごと
平成 26(2014)年	2月●第 12 回技術フォーラムを開催 出席者 105 名 5月●第 5 回倫理フォーラムを開催 出席者 76 名 7月●第 49 回年次大会 ホテル札幌ガーデンパレス 出席者 142 名 10月●第 34 回地域産学官と技術士との合同セミナーを札幌市で開催 出席者 112 名 11月●第 41 回技術士全国大会(福岡)	2月●ソチオリンピックで金 1 銀 4 銅 3 7月●集团的自衛権行使を容認する閣議決定 8月●広島市北部の住宅街で広範な土砂災害 全半壊 60 件以上、死者 70 名以上 9月●御嶽山が噴火 死者 54 人 10月●中村修二(米加大)、赤崎勇(名城大)、天野浩(名大)にノーベル物理学賞
平成 27(2015)年	2月●第 13 回技術フォーラムを開催 出席者 101 名 3月●「食産業研究委員会」が活動を終了 5月●第 6 回倫理フォーラムを開催 出席者 77 名 6月●第 50 回年次大会 ホテル札幌ガーデンパレス 出席者 175 名 10月●第 42 回技術士全国大会(富山) 11月●第 18 回北東 3 地域本部技術士交流研修会を札幌市で開催 出席者 92 名	3月●大阪と札幌を結ぶ「トワイライトエクスプレス」が運行を終了 9月●長時間集中的に降り続いた大雨で鬼怒川堤防が決壊 常総市の広域が浸水 10月●環太平洋経済連携協定(TPP)が 12 か国で大筋合意 11月●ノーベル生理学・医学賞に大村智特別栄誉教授、物理学賞に梶田隆章教授
平成 28(2016)年	2月●第 14 回技術フォーラムを開催 出席者 106 名 5月●第 7 回倫理フォーラムを開催 6月●第 51 回年次大会 ホテル札幌ガーデンパレス ●公益社団法人日本技術士会北海道本部創立 50 周年記念大会を開催	1月●日銀が「マイナス金利付き量的・質的金融緩和」を導入 3月●北海道新幹線が開業 4月●平成 28 年熊本地震 M7.3 最大震度 7 の地震

(敬称略)

日本技術士会北海道本部歴代役員等名簿

北海道支部／北海道本部歴代役員名簿(その1)

年 度	支部長	副支部長	事務局長	本部理事	総務 委員長	技術検討 委員長	業務企画 委員長	技術士試 験委員長	工業技術 研究会長
昭和 41 年度	石山禎宣 (船舶)	瀬藤智雄 (建設)	佐々木敏雄 (応理)	—	—	—	—	—	—
42～43 年度	//	//	//	石山禎宣 (船舶)	—	—	—	—	—
44～49 年度	//	//	//	//	—	—	—	—	—
50～51 年度	瀬藤智雄 (建設)	藤田茂 (化学) 佐々木敏雄 (応理)	大原芳夫 (農業)	瀬藤智雄 (建設)	—	—	—	—	—
52～57 年度	佐々木敏雄 (応理)	栗林隆 (建設) 水島八郎 (建設)	//	佐々木敏雄 (応理)	—	—	—	—	—
58～59 年度	//	//	//	栗林隆 (建設)	—	—	—	—	—
60～61 年度	//	栗林隆 (建設) 大原芳夫 (農業)	青木弘 (建設)	大原芳夫 (農業)	—	—	—	—	竹内靖 (機械) (S61.8.5)設立
62～63 年度	//	大原芳夫 (農業)	//	//	—	—	—	—	北村義治 (金属) 三井茂夫 (化学)
平成元～ 4 年度	//	岡本成之 (水道)	//	岡本成之 (水道)	—	—	—	—	菱川幸雄 (建設)
5～6 年度	//	//	//	館谷清 (建設)	—	—	—	—	//
7～8 年度	//	//	//	//	—	—	—	—	//
9～10 年度	岡本成之 (水道)	青木弘 (建設)	齋藤有司 (建設)	青木弘 (建設)	高橋陽一 (建設)	栗林益美 (機械)	阿部任 (機械)	—	//
11～12 年度	青木弘 (建設)	大島紀房 (応理)	//	//	大島紀房 (応理)	小野潤一 (農業)	武藤征一 (水道)	久保宏 (建設)	阿部任 (機械)
13～14 年度	//	//	//	大島紀房 (応理)	//	能登繁幸 (建設)	//	//	技術交流 研究会へ 移行 (H14.4)
15～16 年度	大島紀房 (応理)	齋藤有司 (建設)	大谷諭 (建設)	//	齋藤有司 (建設)	事業委員長 能登繁幸 (建設)	//	//	
17～18 年度	//	//	//	齋藤有司 (建設)	//	//	//	池田晃一 (建設)	

北海道支部／北海道本部歴代役員名簿(その2)

年 度	支部長	副支部長	事務局長	事務局次長	試 験 委員長	総 務 委員長	事 業 委員長	広 報 委員長	業 務 委員長
平成 19～ 20 年度	大島紀房 (応理)	齋藤有司 (建設) 能登繁幸 (建設)	大谷諭 (建設)	森隆広 (建設) 植村豊樹 (建設)	池田晃一 (建設)	齋藤有司 (建設)	中野淑文 (上下水道)	大熊正信 (建設)	田川輝昭 (建設)
21～22 年度	齋藤有司 (建設)	能登繁幸 (建設) 中野淑文 (上下水道) 大島俊之 (建設)	//	//	中村良則 (建設)	能登繁幸 (建設)	//	金秀俊 (応理)	//
23～24 年度	本部長	副本部長	森隆広 (建設)	植村豊樹 (建設) 長井智典 (建設)	中村良則 (建設)	能登繁幸 (建設)	//	//	田中輝幸 (建設)
	齋藤有司 (建設)	能登繁幸 (建設) 中野淑文 (上下水道) 大島俊之 (建設)							岩田徳夫 (建設)
25～26 年度	能登繁幸 (建設)	中野淑文 (上下水道) 大熊正信 (建設) 布村重樹 (建設・上下水道)	//	羽二生望 (建設) 長井智典 (建設)	//	中野淑文 (上下水道)	加藤龍一 (建設)	//	社会活動 委員長
									岩田徳夫 (建設)
27～28 年度	//	大熊正信 (建設) 森隆広 (建設) 紅葉克也 (建設)	羽二生望 (建設)	長井智典 (建設) 飯野良枝 (農業)	門脇雅明 (電気電子)	大熊正信 (建設)	樫沢勝則 (建設)	//	//

注) 部門は当時のもの(総合技術監理部門は省略)

北海道技術士センター歴代役員名簿(その1)

年度	会長	副会長	事務局長	事務局次長	有資格者増強委員長	広報委員長	業務開拓委員長	連携強化委員長	事業委員長
昭和41年～49年度	石山禎宣 (船舶)	瀬藤智雄 (建設)	佐々木敏雄 (応理)	—	—	—	—	—	—
50～51年度	瀬藤智雄 (建設)	藤田茂 (化学) 佐々木敏雄 (応理)	大原芳夫 (農業)	勝保征也 (建設)	—	—	—	—	—
52～57年度	佐々木敏雄 (応理)	栗林隆 (建設) 水島八郎 (建設)	//	//	—	—	—	—	—
58～59年度	//	//	//	小室秋雄 (建設)	—	—	—	—	—
60～61年度	//	栗林隆 (建設) 大原芳夫 (農業)	青木弘 (建設)	泉重雄 (農業) 小室秋雄 (建設)	三井茂夫 (化学)	菱川幸雄 (建設)	斉藤昌之 (応理)	竹内靖 (機械)	岡本成之 (水道)
62～63年度	岡本成之 (水道)	大原芳夫 (農業) 館谷清 (建設)	//	//	松木譲二 (建設)	//	大原芳夫 (農業)	//	館谷清 (建設)
平成元～2年度	//	//	//	//	//	//	//	北村義治 (金属)	//
3～4年度	//	//	//	大島紀房 (応理) 小室秋雄 (建設)	//	内田辰英 (情工)	栗林益美 (機械)	谷本彰 (農業)	渡辺拓 (建設)
5～6年度	//	//	//	大島紀房 (応理) 齋藤有司 (建設)	高橋陽一 (建設)	//	//	//	川村政良 (建設)
7～8年度	館谷清 (建設)	高橋陽一 (建設) 大島紀房 (応理)	齋藤有司 (建設)	清水誠一 (建設) 田川輝昭 (建設)	//	//	武藤征一 (水道)	斉藤紘 (建設)	古田政美 (応理)
9～10年度	高橋陽一 (建設)	大島紀房 (応理) 能登繁幸 (建設)	//	田川輝昭 (建設) 大谷諭 (建設)	近藤務 (応理)	松井義孝 (建設)	廃止	//	//
11～12年度	//	伊藤昌勝 (建設) 能登繁幸 (建設)	//	//	//	//	—	廃止	中原英稟 (建設)

注) 部門は当時のもの(総合技術監理部門は省略)

北海道技術士センター歴代役員名簿(その2)

年度	会長	副会長	事務局長	事務局次長	有資格者 増強委員長	広報 委員長	事業 委員長
13～14 年度	高橋陽一 (建設)	伊藤昌勝 (建設) 能登繁幸 (建設)	大谷諭 (建設)	横田寛 (応理) 倉橋修雄 (建設)	近藤務 (応理)	松井義孝 (建設)	中原英稟 (建設)
15～16 年度	伊藤昌勝 (建設)	能登繁幸 (建設) 中野淑文 (水道)	//	倉橋修雄 (建設) 植村豊樹 (建設)	//	大熊正信 (建設)	活動推進 委員長
							中原英稟 (建設)
17～18 年度	//	//	//	植村豊樹 (建設) 森隆広 (建設)	//	//	加藤龍一 (建設)

注) 部門は当時のもの(総合技術監理部門は省略)

北海道本部実行委員会委員長・研究会／研究委員会代表幹事名簿

年 度	青年技術士協議会 (H1.10 設立)								
平成元 ～2 年度	能登繁幸 (建設)								
3～4 年度	中野淑文 (水道)								
5～6 年度	石倉昭雄 (水道)	防災 研究会 (H7.5 設立)							
7～8 年度	武智弘明 (水道)	能登繁幸 (建設)	地域産業研究会 (H9.4 設立)						
9～10 年度	吉野大仁 (水産)	//	船越元 (農業)	北方海域技 術研究会 (H11.5 設立)	リージョナルス テート研究会 (H11.8 設立)				
11～12 年度	加治屋安彦 (建設)	//	//	谷野賢二 (水産)	市村一志 (建設)				
13～14 年度	//	高宮則夫 (建設)	//	//	//	技術交流 研究会 (H14.4) 設立			
15～16 年度	椿谷敏雄 (建設)	//	//	//	//	阿部任 (機械)			
17～18 年度	//	//	//	大塚夏彦 (建設)	//	松井義孝 (建設)			
19～20 年度	青年技術 士交流委 員会	防災 委員会	伊藤恒雄 (農業)	//	北越正生 (建設)	//	倫理 研究会 (H21.5 設立)		
	丹治和博 (建設)	高宮則夫 (建設)							
21～22 年度	樋詰透 (建設)	//	//	//	//	//	花田真吉 (建設)	北海道スタ ンダード 研究会 (H23.6 設立)	
23～24 年度	田中真也 (農業)	//	// (H24.3 廃止)	//	対馬一男 (建設)	(H25.3 廃止)	//	天沼宇雄 (建設)	
25～26 年度	永井登茂美 (建設)	//	食産業研 究委員会 (H24.4 設立)	エゾシカ研 究委員 会 (H24.4 設立)	北方海域 技術研 究委員 会	リージョナルステ ート研 究委員 会	インジョイ・サイ エンス 研究委員 会 (H24.4 設立)	倫理 委員 会	北海道スタ ンダード 研究委員 会
			伊藤恒雄 (農業) (H27.3 廃止)	五十嵐敏彦 (応理・建設)	大塚夏彦 (建設)	武智弘明 (上下水道・建設)	対馬一男 (建設)	佐崎雅史 (建設)	天沼宇雄 (建設)
27～28 年度	仁田 智 (建設)	浅野基樹 (建設)	//	//	若林隆司 (水産・建設)	滝澤嘉史 (建設)	板谷利久 (建設)	今井淳一 (建設)	//
							小山田応一 (情報・電気電子)		

注) 部門は当時のもの(総合技術監理部門は省略)

北海道本部地方技術士委員会代表幹事名簿

年 度	道央協議会 (S63.11.25)設立	道南協議会 (S58.11.10)設立	道北協議会 (S63.12.18)設立	道東協議会 (S55.4)設立	オホーツク協議会 (H14.11.12)設立
昭和 55 年度	—	—	—	濱口龍司 (機械)	—
56～57 年度	—	—	—	//	—
58～59 年度	—	渋谷義雄 (建設)	—	//	—
60～61 年度	—	//	—	//	—
62～63 年度	水野忠治 (経工)	//	森貫一 (農業)	//	—
平成元～2 年度	//	//	//	//	—
				小野中(建設)	
3～4 年度	//	//	//	//	—
5～6 年度	//	//	//	//	—
			柳沢秀夫(農業)		
7～8 年度	渡部富治 (機械)	//	//	//	—
			大槻正幸(建設)		
9～10 年度	//	//	//	//	—
11～12 年度	//	船山明彦 (水道)	//	//	—
13～14 年度	//	//	//	//	大島俊之 (建設)
15～16 年度	//	//	遠藤優 (農業)	//	//
17～18 年度	小針憲司 (建設)	//	菅原敏明 (農業)	森貞雄 (上下水道)	//
19～20 年度	道央技術士会	道南技術士会	道北技術士会	道東技術士会	オホーツク技術士会
	小針憲司 (建設)	布村重樹 (建設・上下水道)	菅野哲朗 (建設)	星山賢一 (建設)	大島俊之 (建設)
21～22 年度	岸明仁 (機械)	//	//	//	//
23～24 年度	岸明仁 (機械)	布村重樹 (建設・上下水道)	大原治 (建設・農業)	工藤覚 (建設)	大島俊之 (建設)
25～26 年度	道央技術士委員会	道南技術士委員会	道北技術士委員会	道東技術士委員会	オホーツク技術士委員会
	永澤正則 (建設)	布村重樹 (建設・上下水道)	大原治 (建設・農業)	工藤覚 (建設)	大島俊之 (建設)
27～28 年度	//	//	高桑史郎 (建設)	紅葉克也 (建設)	橘邦彦 (建設)

注) 部門は当時のもの(総合技術監理部門は省略)